

# 未利用地への太陽光発電事業導入のご提案

## 下水道2050脱炭素(CN)に向けてNJSがお手伝いいたします

NJSは、下水道施設の未利用地に再生可能エネルギーを導入する官側の支援として、導入可能性調査や公募・契約支援、既設受変電改修支援だけでなく、PPA事業者としての事業参画を進めています。



## 太陽光発電事業のPPA事業

### 下水道施設への太陽光発電PPA事業に事業者として参画

NJS(構成員)と前田建設工業株式会社(代表企業)は、2024年7月に「富士市東部浄化センター太陽光発電設備導入事業(PPA)」の事業契約を締結し、2025年10月から東部浄化センターへの電力供給を行う予定です。



### 施設概要

供用開始：平成24年4月  
処理能力：55,800m<sup>3</sup>/日

### 太陽光発電設備設置可能場所

約29,300m<sup>2</sup>(左図の通り)

### 事業期間

令和7年9月末までに設備を導入  
令和7年10月から電力供給を開始予定  
太陽光発電設備は原則20年間  
蓄電池設備は原則15年間

### 適用予定交付金

地域脱炭素移行・再エネ推進交付金  
(重点対策加速化事業 環境省)

### 設備条件等

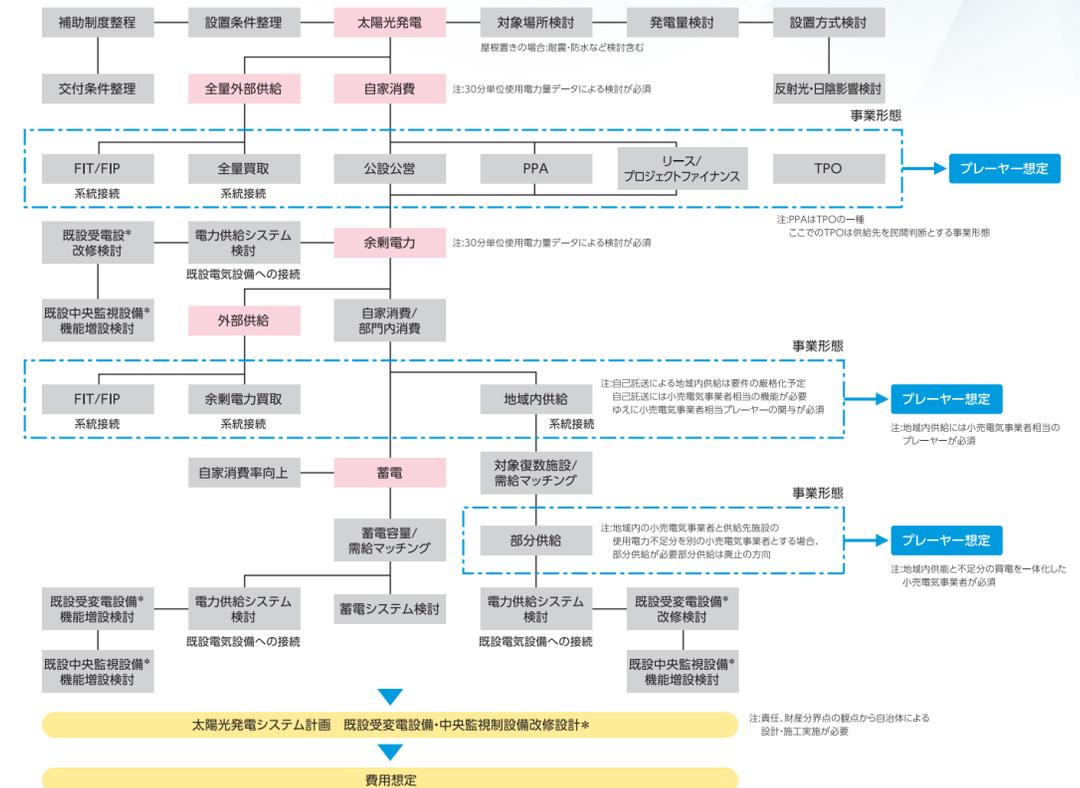
太陽光発電設備の容量：PCS容量で800kW以上  
蓄電池の容量：400kWh以上

※上記は富士市東部浄化センター太陽光発電設備導入事業(PPA)募集要項より抜粋

## 下水道施設への太陽光発電の事業手法

### 太陽光発電事業の事業手法

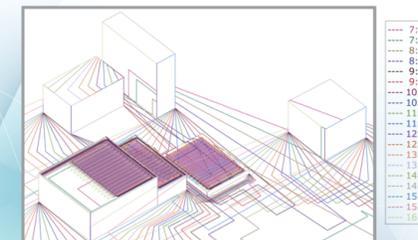
NJSは、これまで蓄積した多くの上下水道事業に関するノウハウ・技術・経験・人材を活用して未利用地への太陽光発電設備の導入に際し、どのような事業が最適であるか提案しています。



## 太陽光発電システムシミュレーションを用いた日陰および反射光の検討

### ●反射光のアニメーション

反射光が周辺に及ぼす影響を、時刻毎に詳細に把握



### ●日陰の軌跡図

周辺建物等の日陰の影響を3Dモデルシミュレーションで可視化

